

令和3年度学校関係者評価委員会 記録

評価委員

立川メディカルセンター常務理事 晴麗看護学校長 上原徹
悠遊健康村病院 リハビリテーション科 技師長 近藤公則
悠遊苑 リハビリテーション科 主任 平原奈緒美

晴陵リハビリテーション学院 学院長 吉井新平
晴陵リハビリテーション学院 理学療法学科 学科長 葦澤力
晴陵リハビリテーション学院 作業療法学科 学科長 上杉文都
晴陵リハビリテーション学院 事務長 五十嵐孝之

令和4年3月28日記録

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、今年度も集まっていたく形ではなく、資料・説明をお渡しし、後にそれぞれよりご意見をいただく形を取らせていただきました。

上原評価委員は令和4年3月23日、近藤評価委員、平原評価委員は令和4年3月18日に意見を頂きました。頂いた意見をふまえ、今後の学院の運営、教育現場の改善に反映をさせていきたいと考えています。以下の通り記録します。

事務局説明・委員会意見

各細分項目について

(1)教育理念・目標について

事務局

本年度、大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請（高等教育修学支援新制度）及び認可を頂いたため、教育理念、教育目標等の情報公開を行なっております。

一昨年ご意見を頂きましたメディアを使った広報について、継続が大事とのご意見もいただいていたので、今年度ものべ44回のTVCMをTenyテレビ新潟で放映しました。

委員会

おおむね適切に対応されているように思う。

(2)学校運営

事務局

高等教育修学支援新制度の関係もあり、情報公開、教育理念・目標の共有などを行なっている。

新型コロナの影響で学校行事がなくなってきているため、SNSを利用して情報発信が減ってきている。

委員会

制度に合わせ適切に行われていると思われる。

喫緊の問題として入学定員を満たすこと。入学者の途中退学を出来るだけ減らすことであろう。入学者増をはかる為の HP はある程度有効であろうが、高校などへ教員が積極的に出向き、アピールを強める必要であろう。それらを充足させるためには、教員自身のモチベーションの維持向上が必要であり、積極的に研究会、関連学会への参加などの制度化も必要と思われる。

学院の状況を時代に合わせた形で、情報発信できていることもよいと思われる。

(3)教育活動

事務局

今年度はオンラインでの実習指導者会議や実習地訪問・学校関係者評価などを利用し、教育、医療界の情報収集を行なうようにしており、カリキュラム内容に反映させるようにしている。

委員会

新型コロナウイルスの影響で、授業及び実習の調整がかなり難しい中、対応に努力されていると思われる。今後もグループ施設との連携を中心に調整していくが、状況によっては対応に限界が生じる可能性もあるため、更に広い範囲での協力体制が必要かと思われる。

教員の確保の為に、法人外も含め、積極的にアプローチしていく必要があるのではないか。

職員の為の研修等への参加が積極的に行われるとよいのではないかな。

(4)学修成果

事務局

なかなか同窓会活用の話が進んでいないので進めていきたい。

委員会

同窓会については、晴麗看護学校では残念ながら解散した。長期にわたりリーダーシップをとる人材確保が難しいことがあった。特にリハビリ学院では卒業生が全国に散らばっている状態で動向のフォローは難しいと思われるが、出来るだけ卒業生の動向をみきわめる体制づくりが必要であろう。

職業人を育てる教育機関ではあるが、医療人として最も重要な人間性の涵養としての教育の重要性を確認する必要がある。

卒業生の様子を情報収集し、学校の教育活動の改善に活用されるとよいのではないかな。

(5)学生支援

事務局

個別対応ではあるが、実習その他教育環境の相談に対応するようにしている。

委員会

学生への対応については、時代の流れもあり難しくなっている。今まで以上にフォロー体制を充実させ、早めに変化に気づけることが必要である。

(6)教育環境

事務局

今後は ICT への対応を検討していくうえで学内 LAN が弱いことが分かってきたので対応

していきたい。

委員会

臨床実習方法が変わります。今まで以上に実習先との連携が必要となる。さらに就職先となった施設からの情報も、学生を教育する上で参考になると思われる。

(7)学生の受入れ募集

事務局

高校生や高校の進路指導者が必要としている情報を出せるよう対処している。

委員会

学生数の確保については、高校への働きかけやメディアを利用し努力されている。魅力ある学院を継続的に発信することは大変有効であると思われる。

(8)財務

事務局

ホームページに情報公開をしている。

委員会

特になし

(9)法令等の遵守

事務局

必要な条件は満たしています。

委員会

特になし

(10)社会貢献

事務局

特別なことは行っていないが、学校訪問など依頼のあったものについてはお断りせず受け入れている。

委員会

同年代以外の方々と接する機会は、臨床実習の一助になるのではないか。(コロナ禍ではあるが)

事務局総括

今年度も新型コロナウイルスの影響があり、学校活動が思うようにいかない年ではあり、一部実習を変更したが問題なく終えました。ほか、学生管理システムが新たに導入されたので業務の軽減や情報共有など日常業務だけでなく、広報、卒業生把握にも活かしていけたらと考えています。

委員会

自己評価表は概ね「適切」や「ほぼ適切」で良いと思われる。その中で幾つかの「やや不適切」点について前年度と変化が少ない為、今後の改善努力が望まれる。

晴陵リハビリテーション学院 自己評価表

R4.2.19 実施

1. 学校の教育目標

1. 理学療法士・作業療法士に必要な確かな知識・技能を身につけた人材の育成。
2. 専門能力を発揮するために挨拶、礼儀、言葉遣い、道徳、協調性などの人間として基本的な態度を養い現場で活躍することができる人材の育成。
3. 明るく、たくましい心を培い、相手の立場に立ち共感し、思いやりを持った関わりができる人材の育成。
4. 自主自学の精神の基、修得した知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み主体的に学び続けることができる人材の育成。
5. リハビリテーションチームの一員として将来、社会で活躍するために必要な真摯な態度と謙虚な姿勢、内省力、発信力を身につけた人材の育成。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

Webによる学校説明会・体験入学会など広報活動をしっかりと行い、新型コロナの影響はあるが入学者数定員（各40名）を確保する

退学者の減少

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④・3・2・1	
学校における職業教育の特色は何か	④・3・2・1	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4・③・2・1	
学校の理念・目標・育成人材像・特色・未来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④・3・2・1	HP、パンフレット等に記載
学校の理念・目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4・③・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4・3・2・1	職員間で共有されているが明文化されていない
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・3・2・1	事業計画は策定されているが、中長期計画が設計されていない
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4・3・2・1	一部学則に記載し、運用
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4・3・2・1	医療法人に準ずる形で整備されている
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4・3・2・1	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4・3・2・1	行政指導に従い行なわれている
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4・3・2・1	適切に対応している
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・3・2・1	学生管理システムを導入した

I. 課題

- ・明文化されていない部分がある

II. 今後の改善方策

- ・不足している部分の明文化

III. 特記事項

- ・学生管理システムを導入した

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④・3・2・1	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④・3・2・1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④・3・2・1	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④・3・2・1	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④・3・2・1	SVM や学校化関係者評価、グループ病院との連携を利用している
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④・3・2・1	
授業評価の実施・評価体制はあるか	④・3・2・1	
職業教育に対する外部関係者の評価を取り入れているか	④・3・2・1	リハビリテーション教育評価機構
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④・3・2・1	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④・3・2・1	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④・3・2・1	
関係分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4・③・2・1	医療法人と連携を獲るなどしている

<p>関連分野における先端的な知識・技術等の修得のための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	<p>関連病院での実務参加をし、教員の知識技術のバージョンアップができる機会がある</p>
<p>職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	<p>学校独自のものは</p>

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
就職率の向上が図られているか	④・3・2・1	全体で就職指導、就職相談会の実施等
資格取得率の向上が図られているか	④・3・2・1	国家試験特別講座等の実施
退学率の低減が図られているか	4・③・2・1	個別指導等の実施 休学規定の変更
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・3・②・1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4・3・②・1	機会あるごとに卒業生の情報を収集していく

I. 課題

機会があれば卒業生の就職後の様子を聞くことはあるが、とりたてて把握する活動をしていない

II. 今後の改善方策

実習地訪問などの機会の利用

同窓会との連携を図り、改善を図る

III. 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1	就職相談会、個別指導の実施
学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1	担任制、スクールカウンセラー配置
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④・3・2・1	納付金の2期分納、特待生制度、公共制度申請など
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1	病院と連携し、健康診断実施、感染症抗体フォロー
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4・③・2・1	学校施設の活用
学生の生活環境への支援は行われているか	4・③・2・1	スクールカウンセラー配置
保護者と適切に連携しているか	4・③・2・1	定期的なものはないが必要に応じて
卒業生への支援体制はあるか	4・③・2・1	勉強会等実施 施設の貸出
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4・③・2・1	個別で対応している
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④・3・2・1	中学校・高校の学院 訪問受け入れや職業啓発活動

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
防災に対する体制は整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている

I. 課題

II. 今後の改善方策

ICT への対応

III. 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学生募集活動は、適正に行われている	④・3・2・1	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④・3・2・1	
学納金は妥当なものとなっているか	④・3・2・1	

I. 課題

- ・ 広報の手段、方法、内容の見直しは常に必要

II. 今後の改善方策

- ・ 高校生や進路指導者が必要としている情報を常に把握をするよう訪問時は心がける
- ・ ICT化

III. 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④・3・2・1	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4・③・2・1	部分的に達成できていない
財務について会計監査が適切に行われているか	④・3・2・1	
財務情報公開の体制は整備できているか	④・3・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④・3・2・1	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④・3・2・1	
自己評価結果を公開しているか	④・3・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④・3・2・1	体育館の貸出など
学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4・3・②・1	特別なことはしていない
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4・③・2・1	依頼されたものは受けている

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年、学校関係者評価を経て、改善されたことやまだ不足していることを進めることができた。

新型コロナウイルスの影響もあり、学生募集や3年生の総合実習、2年生の評価実習、1年生のキャンプ等、中止や変更を行わざるを得なかったが、しっかりと対応し、ほとんど影響なく行えた。学校生活の充実のためキャンプや学園祭に替わるイベントを考える必要がある。